



2016 SUMMER vol.34

SEASON



写真：中央図書館エントランス

ISSN 1349-3760

 白樺図書館長就任挨拶 本田 優子 教授

 SBW・SRP 活動報告

 知って得する 図書館のキホン！

 図書館書簡

白樺図書館長就任挨拶



白樺図書館スタッフと共に

本田 優子
看護学部教授

このたび、白樺図書館長を拝命しました看護学部の本田です。憧れの八王子、創価大学看護学部に教員として赴任させていただき、二年を経過いたしました。その間、誠実で力溢れる職場の教職員の方々と、瞳輝く学生の皆さんと共に、草創の看護学部建設に邁進しています。そして今年度、白樺図書館長としての役目を与えていただき身の引き締まる思いでございます。少々自己紹介をさせていただきますと、専

門は精神看護学であり、思春期の精神保健を専ら研究しております。子どもたちが健やかに自分らしく成長することに寄与できることを何よりも嬉しく感じております。

看護学部は本年四期生を迎えるまして、いよいよ一年生から四年生が揃い、完成年度となります。このような大事時に学部の副学部長を拝命し、同時に白樺図書館長もお引き受け致しました。この責任を果たすべく図書館職員をはじめ教職員、学生の皆さんのご協力をいただきながら一つひとつ仕事を行つていただきたいと思います。

さて、白樺図書館に冠する「白樺」という言葉。今から四十七年前の昭和四十四年六月六日、私たち、看護師の先輩達のグループが結成されたときに、創立者池田先生によつて、「白

闘いに身を挺する保健医療福祉に携わる方々にとって、生命触発の場でもあると考えております。

看護学部棟工ントランスに掲げられた創立者から贈られた三つの指針には、一、生命の尊厳を探求する、生涯学びの看護、一、生きる力を引き出す励ましの心光る看護、一、共に勝利の人生を開く「智慧と慈悲の看護」とあります。冒頭の「生命の尊厳」は、現代社会にとって又人間存在にとって、最も必要且つ重要なキーワードですが、創立者が指針の最初に掲げてくださった意味を、私たちは深く探究すると共に、「白樺」に込められた「抜苦与樂」の行動一つひとつが、「生命尊厳」の実現につながることを確信し、ご構想の一端を果たして参りたいと思ひます。

さて、開館から四年目に入った白樺図書館ですが、看護学部の臨地実習にご協力いただいている地域の病院、施設の看護職員の方々から、数々の感謝

の言葉を頂いております。ただ今、地域貢献のために、図書館利用証のご案内をし、図書館での書籍利用や文献検索等のサービスをご提供しております。近年、看護現場におきましては、研究を積み重ねることで看護の専門性を開發し、業務改善もデータで効果を示すことが求められます。そこで、看護職員の方々が研究上参考・引用する研究文献が必須となります。大学の図書館は知の宝庫であり、最新の研究文献に触れる貴重な場となります。そのような事情のため、研究熱心な看護職員の方々には喜んで、図書館を利用いただいております。

昨年は初めて、看護学部三年生の看護実習がありました。その中で、病院の実習指導者の方が、実習生の看護上の疑問に応えようと、研究文献を取り出して根拠あるご指導をしてくださいました。その実習生は、看護師さんの即座に対応する姿勢とともに研究文献を基にした根拠ある

指導を目の当たりにして、大変感動しております。教員としても大変に有り難く、大学と看護現場で心合わせて学生指導に当たれることを嬉しく感じた次第です。

そして今年度に入り、ますます白樺図書館はにぎやかとなりました。四年生が卒業研究のために文献検索や図書を利用することが多くなり、また三年生、二年生も、授業前後の課題に取り組もうと、図書館での調べもの、看護技術の演習に備えてのDVDでの技術確認など、様々な方法で学習する姿を多く見かけるようになりました。それと共に、白樺図書館への要望も日々寄せられるようになりました。今後も、知の宝庫として利活用しやすい図書館を目指して、「生命尊厳」の世界をリードする力ある看護師育成に陰ながら力を尽くして参りたいと思います。関係する皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

「白樺」と命名されました。それはなぜか。白樺の性質・特徴についてはこのようにあります。「①荒れ地に根をおろし、風雪に耐え、瓦礫のような土壤も、他の植物が繁茂できる肥沃な土壤に変える。②寒さが厳しければ厳しいほど、樹皮の白さを増し、清楚な姿で天空にさつそうと伸びゆく。③樹皮にはウオツカの原酒に含まれる不純物を吸収し、取り除く作用があり、抜苦与樂の白樺精神を象徴している。」と。この創立者の白樺に寄せるご期待を行つていただきたいと思います。

さて、白樺図書館に冠する「白樺」という言葉。今から四十七年前の昭和四十四年六月六日、私たち、看護師の先輩達のグループが結成されたときに、創立者池田先生によつて、「白

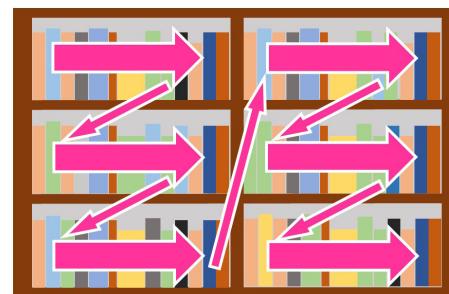
矢印で得する
図書館のキホン!

マナーキャンペーン
2016

キホンその1

書棚の本には 住所がある?!

本には1冊1冊の住所となる背ラベルが本の背に貼られており、ラベルに記されている番号順に並んでいます。開架も閉架も本の並び方は、背ラベルに書棚の左上から右へ、一段下がってまた左から右へ向かい、一番下まで行くと右隣の書棚の上段へ続きます。この本の並びを示している背ラベルに記載されている番号を「請求記



号」と呼びます。

この「請求記号(背ラベル)」は原則として「日本十進分類法」に基づいて、左頁の構成で成り立っています。

蔵書検索システムで検索すると「蔵書情報」のところに「請求記号」が表示されます。それを元に書棚へ行って本を探します。

請求記号(背ラベル)は 本の住所です!

請求記号(背ラベル)

324.8
H38
1

分類番号
著者記号
(アルファベット順)
巻号など

禁帯出・参考書などは貸出できません



本を戻す時は
気をつけよう!

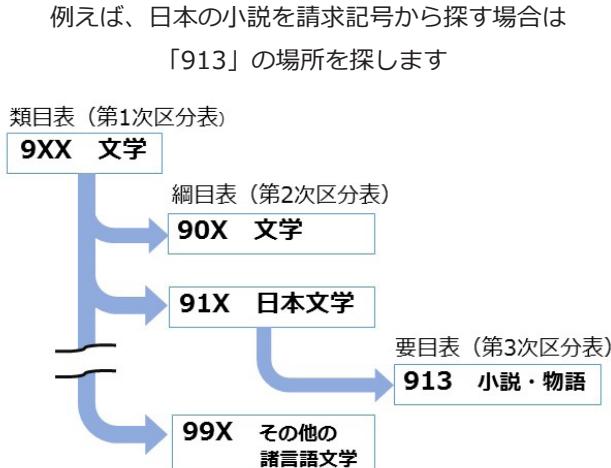
学内の蔵書を合わせると、およそ100万冊の図書があります。本を書棚に戻す際に、請求記号を無視して他の空いている場所へ適当に置いてしまうと、その本はたちまち行方不明となってしまうことがあります。次に読みたい人がその本を探せない、見つけられないといったこともありますので、本は必ず元の場所へ戻すようにしましょう。

日本十進分類法って?

キホンその2

創価大学附属図書館の請求記号は「日本十進分類法」を使用しています。

「日本十進分類法」とは「0」から「9」の数字を使って、大まかな分類から細かい分類へと10までの項目に細分していく「十進分類法」の一つです。例えば「文学」は「9XX」→「日本文学」は「91X」→「(日本文学の小説・物語」は「913」というように下の桁ほど下位の細かい分類を表現しています。



中央図書館では、法律や教育など「3」から始まる社会科学の分野に属する資料は2階閲覧室に。それ以外の哲学や、美術、文学、自然科学などに属する「0~2、4~9」から始まる分野の資料は3階閲覧室に配置しています。

中央図書館では、法律や教育など

「3」から始まる社会科学の分野に属する資料は2階閲覧室に。それ以外の哲学や、美術、文学、自然科学などに属する「0~2、4~9」から始まる分野の資料は3階閲覧室に配

類目表(第1次区分表)

0 総記(情報学、図書館、図書、百科事典、一般論文集、逐次刊行物、団体、ジャーナリズム、叢書)
1 哲学(哲学、心理学、倫理学、宗教)
2 歴史(歴史、伝記、地理)
3 社会科学(政治、法律、経済、統計、社会、教育、風俗習慣、国防)
4 自然科学(数学、理学、医学)
5 技術(工学、工業、家政学)
6 産業(農林水産業、商業、運輸、通信)
7 芸術(美術、音楽、演劇、スポーツ、諸芸、娯楽)
8 言語
9 文学

★日本十進分類法は、2・3階閲覧室入口や、書棚に提示しています。

★創価大学附属図書館は日本十進分類法第8版を使用しています。

POINT!

本をどこに戻すかわからなくなつた場合には、2階、3階に、「返却用台」があるので、そちらに置いていただくか、1階カウンターに届けてください。

別置区分ってなあに?

図書は請求記号(背ラベル)に従って番号・記号順に2階・3階閲覧室に配置していますが、この配置場所の他に別置区分図書があります。

「語学学習」や「新書」「文庫」「キャリア科目課題図書」などは、独立したコーナーに配置されており、各コーナー内で請求記号順に並んでいます。これを「別置(べっち)」といいます。本を探すときは、別置区分かどうか気をつけて探してみましょう。

卷之二

水分補給量を充てん

八王子の夏はとても暑く、いくら図書館の中とはいえ冷たい飲み物を手元に置いておきたいのです。

中央図書館では、6月1日から10月31日までの期間、試験的に蓋付きの容器に入った飲みもの（ペットボトルや水筒）からの水分補給が全閲覧室（創立者コレクション室・書庫を除く）でOKになりました。今回の補給場所拡

充は試験運用ですので、永続的なサービスにするためにもルールの遵守にご協力をお願いします。

飲み物を溢してしまった
だり館内の備品が汚れたりしてしまい
ますので、水分補給する際には十分に
注意してください。食べ物は2階のブ
ラウジング・ルームのみとなります。
飲食のマナーを守つて、図書館を綺麗
に保ちましょう。

仲の良い友達同士でも絶対に代理貸出は行なわないでください。

借りた本が返却されずに自分に延滞罰則がつくこともあります。また、本を紛失すると貸出者が弁償することになるので気をつけてください。

図書館で おしゃべり

初めて中央図書館に入ると、話し声が聞こえてきて戸惑う方がいるかもしれません。「図書館って静かにすると「ほのじやないの?」と思われる方、中央図書館の1階閲覧室はラーニング・コモンズとして、ゼミでの学習などグループでディスカッションしながら学べるスペースです。ここでは多くの学生が熱心に議論しながら学習をしてい

席取り禁止

荷物を置いたまま長時間席を離れ

返却期限は必ず
キホンと6ヶ月
守らう

キホンセイ

友達に代わりに

借りている本は、他の誰かが読みたがっているかもしません。予約が入っていることもあります。次の利用者を必要以上に待たせないためにも、返却期限を守るようにお願ひします。

返却期限日を8日以上過ぎると、週間の延滞罰則が、32日以上過ぎると、31日間の延滞罰則がつきます。延滞罰則期間は、どうしても必要な

ます。しかし、図書館のキホンは静かにするもの。ラーニング・コモンズとプラウジング・ルーム以外の場所は、**図書館のキホンは静か**です。「私は
静かに勉強
や読書がし





本はキレイに
つかぶう！

図書館の本へ書き込みや線を引くのもマナー違反です。

また、エリシング・モンズはあくまで学習のためのスペースとなつていいるので、携帯電話での通話や懇談などはブラウジング・ルーム内でお願いします。

キホンセのワ

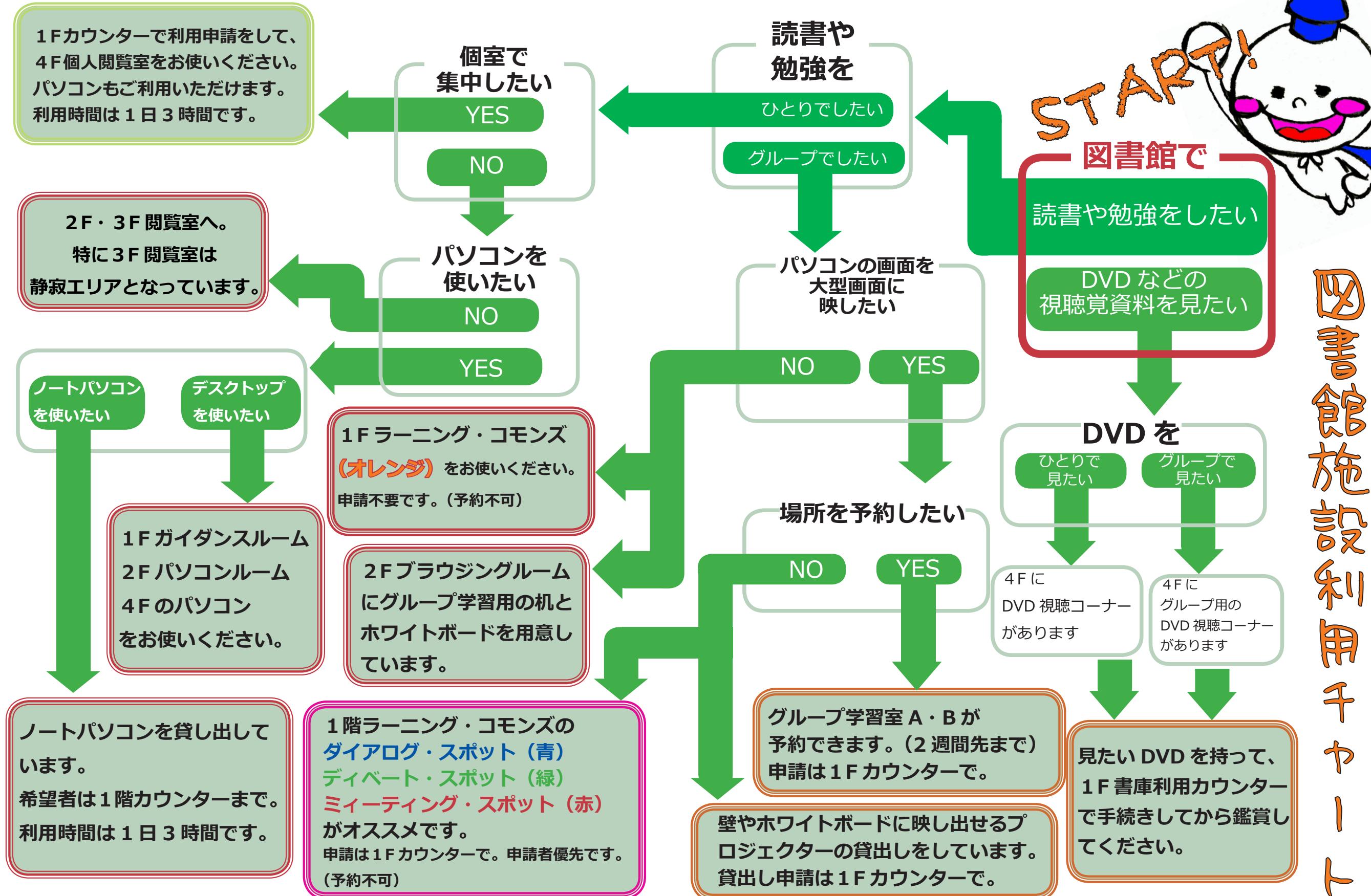
荷物を置いたまま長時間席を離れ

場合でも本を借りられなくなつてしま
います。

延滞している本でも、カウンターで
本を返却したとき（延滞期間が7日以
内）には、同じ本を続けて借りられる
ようになつたので、希望者は返却の際
に申し付けてください。

また、中央図書館入口や中央教育棟
1階など学内4カ所に返却ポストがあ
りますが、本の回収は平日の午前中1
回のみとなつています。

同じように借りた本へ付箋を貼つたまま返却するのもマナー違反です。貼つた付箋はすべて剥がして返却をし





★ SBWアワードとは・・・SBW のサイトに掲載されている月間アワード対象図書を読み、優れた感想文を提出した方に表彰を行い、図書カードを進呈することによって、読書を啓発する取り組みです。

★4月の対象図書は、①『人間革命と人間の条件／池田大作』、②『伝え方が9割／佐々木圭一』、③『代表的日本人／内村鑑三』でした。

今回の受賞者奥田秀美さんは、②の『伝え方が9割／佐々木圭一』の感想文を提出されました。

★表彰は、6月1日開催の『ビブリオバトル』の冒頭で行われ、前田図書館長より、表彰状と図書カードが奥田さんに授与されました。

★受賞者の声…「表彰いただきありがとうございました。今後も、アワード対象図書への挑戦の中で新しい本に出会っていきたいです。」

※12月まで毎月対象図書を設けていますので、皆さんの挑戦をお待ちしております！

(Soka Reading project より SBW ウェブサイト <http://lib.soka.ac.jp/sbw/>)

SBW・月間アワードが決定しました！

4月に中央図書館ラーニング・コモンズにおいて、Soka Reading Project (SRP) の新歓イベントが開催されました。

SRPは、創立者池田大作先生の活字文化復興への想いを受け、「1人でも多くの学生に読書の素晴らしさを伝えよう」という志をもって集った学生有志の読書推進団体です。そのSRPが4月に怒濤の3週連続新歓イベントを、中央図書館1階ラーニング・コモンズで行ないました。

第1弾となる4月13日は「ビブリオバトル」を開催。お気に入りの本のプレゼンを行い、それを聴いた観客がどの本を一番読みたくなつたかを投票する、SRP恒例のイベントです。

第2弾となる20日は「読書談議」を行いました。「ミステリー」「ファンタジー」「青春モノ」の3つのジャンルをテーマに、自他共に認める読書好きの参加者を交えて、和気あいあいとした集いとなりました。

新歓イベント最終日の27日には「ポップ作成」を開催。書店の平積みコーナーなどでよく見られる、本を紹介する「ポップ」作成です。参加者は色とりどりの色紙やペンを駆使し、その本への思いを込めながら多種多彩なポップを作り上げていました。

4月13日のビブリオバトルの様子



SRPでは、本が好きな方もそうでない方も楽しめる、読書が好きになるような企画をドンドン打ち出していくますので、ぜひ参加してください！

(Soka Reading Project より)

SRPの新歓イベント開催

開館日程

通常開館時間 8:30 ~ 21:00

休館

9:00 ~ 21:00

10:00 ~ 19:00

10:00 ~ 17:00

7月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		7	8	9	10	11
		14	15	16	17	18
		21	22	23	24	25
		28	29	30	31	

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3		
4		5	6	7	8	9
11		12	13	14	15	16
18		19	20	21	22	23
25		26	27	28	29	30

※9月24日（土）は停電のため、9:00 ~ 19:00 の開館です。

夏季長期貸出期間が始まります！

7月15日から夏季休業期間の長期貸出を行ないます。まとまった時間にたくさんの本を読めるチャンスです！是非、以前から気になっていた図書や、いつかは挑戦してみたかった古典の名作にチャレンジしてください！

○2週間貸出者（学部生・別科生・短大生など）

7月15日（金）～8月16日（火）

○4週間貸出者（教職員・大学院生・学外利用者など）7月15日（金）～8月30日（火）

この期間に借りた図書の返却日は **9月14日（水）** となります。

※雑誌・CDを除く

選書ツアー参加者募集！

9月10日（土）に選書ツアーを開催します。選書ツアーとは学部学生の皆さんに実際に書店へ足を運び、図書館に入れたい本を直接選んでもらおうという企画です。皆さんのセンスで、魅力あふれる図書を選書してください！

参加申込期間は7月11日（月）～7月29日（金）まで。創価大学図書館ウェブサイトの「各種講習会申込受付」から応募できます。定員は20名。先着順となりますので、参加を希望する方はお早めのエントリーをお願いします。

選書ツアーの詳しい情報は図書館ウェブサイトでご確認ください。